

令和7年4月25日

株式会社レポインターナショナル

京都市下京区綾小路通烏丸東入竹屋之町 252 番地 1

四条烏丸アーバンライフビル 101

大阪・関西万博に参加（5月6日から1週間）

～バイオ燃料がエネルギーの未来を切り開く～

当社（本社：京都市、代表取締役 CEO 越川哲也）は、4月13日より開幕した大阪・関西万博へ参加いたします。

展示テーマは、「バイオ燃料がエネルギーの未来を切り開く～捨てる時代から活かす時代へ～」とし、独自の再資源化技術を通じ、持続可能なエネルギー社会の実現に向けたビジョンを発信してまいります。

本展示では、廃プラスチックや漂着ゴミ、木質系バイオマス^(※1)といったこれまで活用されていなかった廃棄資源から、新たな燃料を生み出す革新的な技術をご紹介します。資源を「捨てる」から「活かす」へと転換する、資源循環型社会の実現に向けた最新の研究成果や製造フローを、わかりやすく展示し、当社独自技術である REVO 方式急速接触熱分解（R-CFP）技術^(※2)の解説ブースを設け、廃棄資源がバイオ燃料に生まれ変わるプロセスを体験型展示としてお楽しみいただけます。

未来のエネルギー製造技術を「見て、学んで、体験できる」空間となっており、お子様から大人まで幅広い世代の方に楽しんでいただける内容です。

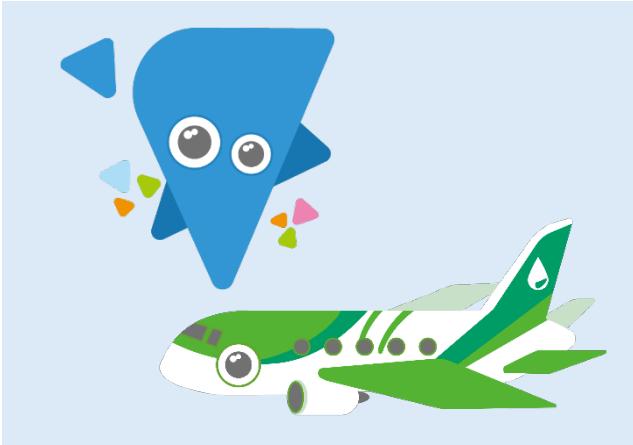
当社はこれまで京都工場や愛知工場を拠点に、『RECO（廃食用油）』を原料とした『C-FUEL（バイオディーゼル燃料）』^(※3)や、世界初の独自製法による SAF^(※4)の開発・製造を進めてまいりました。

この度の万博を通じて、より多くの方に当社の取り組みを知っていただき、持続可能な未来づくりに向けた社会全体での共創を目指してまいります。

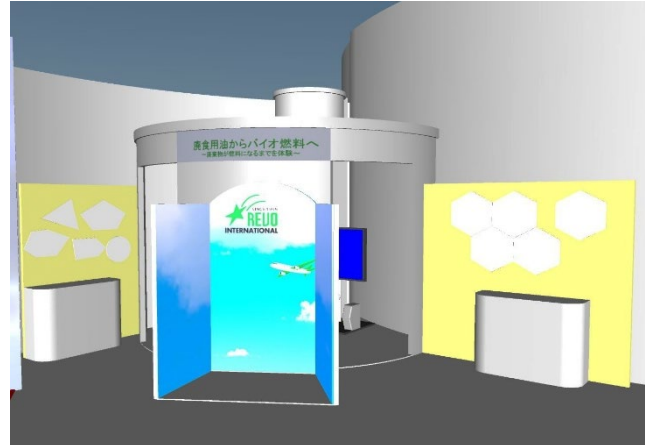
【展示概要】

- * 展示期間： 2025年5月6日火曜日～5月12日月曜日の1週間
- * 展示エリア： フューチャーライフビレッジ内 L02（EXPO 2025 会場の西側）
- * 内容：
 - 廃プラスチック・漂着ゴミ・木質系バイオマスの資源化技術紹介
 - REVO 方式「R-CFP 技術」の解説
 - エネルギー循環を体験できる展示・体験ブース

【展示キャラクター】



【展示イメージ】



- (※1) 木質系バイオマス： 間伐・主伐により伐採された木材のうち、製材に使えない細い木や枝葉、切り株など未利用のまま林内に残されているもの。
- (※2) REVO 方式急速接触熱分解（R-CFP）技術： 廃プラスチックや漂着ゴミ、木質系バイオマス等を原料とし、持続可能なバイオ燃料を製造する当社独自の技術。
- (※3) 『C-FUEL（バイオディーゼル燃料）』： 生物由来の油脂から製造されるディーゼルエンジン用の燃料、日本では概ね FAME（脂肪酸メチルエステル）を指すが、
広義の意味で HVO（水素化ベジタブルオイル）等も含む。
- (※4) SAF： 持続可能な航空燃料

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社レボインターナショナル

運営管理部総務課 広報：奥村、森谷、河野

広報 TEL：075-585-2289 / 夜間 TEL：080-6518-4441

本社：075-353-2277

Mail：revo-pr@e-revo.jp